

## (19) らっきょう

RPA

病害虫名	薬剤名	農薬の種類	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数	作物名
乾腐病	ディートベックス油剤	メチルイソチオシアネート・D-D油剤	8A,8F	劇	30～40%/10a		は種又は植付の21日前まで	圃場を耕起・整地した後、所定量を深さ約12～15cmに注入し、直ちに覆土・鎮圧する。薬剤処理7～14日後にガス抜き作業を行う。	1回	らっきょう
	トリアミン水和剤	トリアミン水和剤	3		50倍	-	植付前	5～30分間種球浸漬	1回	らっきょう
	ベンレートT水和剤20	チナム・ベンゾニル水和剤	1,M3		200倍	-	植付前	30分間種球浸漬	1回	らっきょう
	ベンレート水和剤	ベンゾニル水和剤	1		500倍	-	植付直前	30分間種球浸漬	1回	らっきょう
白色疫病	フリオールト	メタキシム・TPN水和剤	4,M5		1000倍	100～400%/10a	収穫14日前まで	散布	3回以内	らっきょう
	フロンサイド水和剤	フルアジナム水和剤	29		1000倍	100～300%/10a	収穫14日前まで	散布	5回以内	らっきょう
	ベトファイター顆粒水和剤	シモキニル・ベンチアバリンカルブ・イソプロピル水和剤	27,40		2000倍	100～300%/10a	収穫14日前まで	散布	3回以内	らっきょう
さび病	アミスター20フロアブル	アジキストロビン水和剤	11		2000倍	100～300%/10a	収穫3日前まで	散布	3回以内	らっきょう
灰色かび病	フロンサイド水和剤	フルアジナム水和剤	29		2000倍	100～300%/10a	収穫14日前まで	散布	5回以内	らっきょう
	ロブテール水和剤	イプロン水和剤	2		1000倍	100～300%/10a	収穫30日前まで	散布	3回以内	らっきょう
ネマ	ネマトリクス粒剤	ホスチアベート粒剤	1B		15kg/10a		植付前	植溝土壌混和	1回	らっきょう
ネマ類	トクオン細粒剤F	プロチオス粉粒剤	1B		6kg/10a		定植時	植溝土壌混和	1回	らっきょう
	フォース粒剤	テフトリン粒剤	3A	劇	6～9kg/10a		収穫14日前まで	株元散布	1回	らっきょう
					9kg/10a		定植前	植溝土壌混和	1回	らっきょう
					9kg/10a		定植前	全面土壌混和	1回	らっきょう

# かき殻石灰でラッキョウのネダニを防除

土壌中に生息するネダニ類は、ラッキョウの子球を加害する最も重要な害虫です。本県のラッキョウは栽培期間が3年に及び、被害を受け易いため、化学的防除を補完する耕種的防除法と土壌中の生息数調査法を確立しました。

## 1 かき殻石灰施用によるネダニ類の発生抑制

かき殻石灰を基肥に200kg/10a、追肥時に100kg/10a施用すると、慣行（苦土石灰100kg/10a）に比べ、ネダニ類が増殖しやすい栽培期間後半まで土壌 pH を高く維持できます（図1）。それにより、収穫前の子球に寄生したネダニ類の数は約30%に減少します。また、初期生育が良くなるうえ、分球数と反収が増加します（表1）。

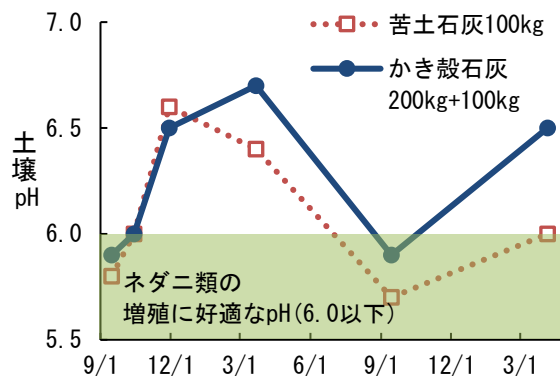


図1 土壌 pH の推移

## 2 ネマキック粒剤の併用による防除効果の向上

越冬後（3月下旬）から収穫前（6月上旬）にかけての土壌中のネダニ類の増殖率は、無処理を100とすると、慣行（苦土石灰+ネマキック粒剤）は16、かき殻石灰とネマキック粒剤を施用すると5で、無処理に比べ高い防除効果が得られます（図2）。

※ネマキック粒剤は有効期限を遵守して使用してください。

## 3 簡易なネダニ類生息密度の調査法

土壌を200g採取し、耐水紙にオニオンパウダーを付着させたトラップを3枚設置することにより、土壌中のネダニ類の捕獲効率は71.2%で、従来の調査法（ツルグレン法）での10~15%に比べ高まりました。越冬後の調査は、収穫前のネダニ類の生息数と高い相関がみられるので、簡易で精度の高い調査法として利用できます（図3）。越冬後に土壌200gあたり3頭捕獲されると、収穫前の寄生数は1球あたり約2頭になり、約10%収量が低下する恐れがあるので、防除が必要です。

表1 石灰資材と被害・収量の比較

	寄生数 (頭/球)	10球重 (g)	分球数 (個/株)	反収 (kg/10a)
かき殻石灰	0.88	46.8	30.9	2,741
苦土石灰	2.81	57.9	19.7	2,174

(栽植密度：19,000株/10a)

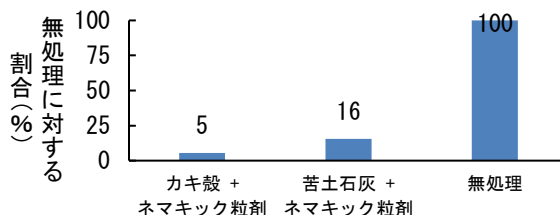


図2 土壌中のネダニ類の増殖率

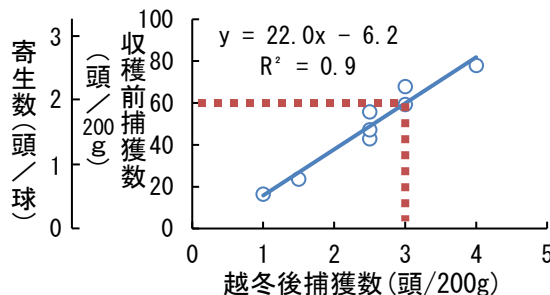


図3 土壌中のネダニ類の生息密度

### 【技術の効果およびコスト】

表2 かき殻石灰を施用した場合の収益（10aあたり）

	かき殻石灰	慣行(苦土石灰)	備考
収量	1,673 kg	1,327 kg	ラッキョウ単価 205 円/kg
粗収益	343,036 円	272,035 円	
防除薬剤経費	27,400 円	31,200 円	ネマキック粒剤施用回数 慣行：2回、かき殻：1回
石灰資材経費	13,950 円	2,950 円	かき殻石灰 930 円/20kg、200kg 施用 苦土石灰 590 円/20kg、100kg 施用
粗収益-資材経費	301,686 円	237,885 円	

慣行収量(H25~29平均)、ラッキョウ単価、石灰資材経費は三里浜特産農協からの聞き取り (R1実績)

(農試 次世代技術研究部 生産環境研究G)